

## 第1回スクールバス専門部会議事概要

日時 令和7年6月23日（月）

午後6時30分から午後7時50分まで

場所 教育プラザ都留3階小研修室

### 議事

#### (1) スクールバスの乗降場所について

##### 検討事項①

スクールバスの谷一小側の乗降場所について、案1～3について事務局説明

##### (専門部会の意見集約内容)

- ・案1の新町市有地は、乗降場所から学校までの通学ルートの安全性にかなり問題があるので、**選択肢から除外**する。
- ・案2の校庭内（改修）は、学校のグラウンドが狭くなることや歩道への影響があり、また、整備が大規模となることから、**選択肢から除外**する。
- ・案3の裁判所前市道は、学校側の考えを聴く必要性、乗降場所から学校までの安全性について、さらに調査・検討する必要がある。反対側（県民信用組合側）に乗降場所を設置したほうが、学校へのアクセスはいいのではという意見もあるが、歩行者が多く歩道を狭くしてしまうデメリットが大きい。
- ・提示された3つの案以外に、校庭の体育館横や市役所東側体育館横についても検討するべき。
- ・学校のスクールバス受け入れ体制を重視する必要があるため、今後検討する案について、学校側（谷一小）の意見をあらかじめ聞いておく必要がある。
- ・案1と案2を検討から除外し、次回の部会までに案3に加え「校庭内体育館横」と「市役所駐車場東側体育館横」の2案についても、学校の意見を踏まえ詳細な検討資料を用意する。

##### 検討事項② 附属小学校区内での乗降場所について、

原則として、県道都留道志線を運行し、路線バスのバス停を利用することを想定  
富士急路線バスのバス停配置図・周辺画像と併せて谷一小と附属小から現状把握している児童の住んでいる場所にマーキングしてもらったマップ資料を提示

##### (専門部会の意見集約内容)

- ・それぞれの乗降場所（バス停）に、歩道が狭い、横断歩道がない、カーブで見通しが悪いなど安全対策上の課題がある。
- ・課題解決が難しい乗降場所は、別の場所を検討する。
- ・バス運行ルート（沢田橋～八幡橋）の変更（細い道のバス通行の可否や所要時間）も検討する。

## (2) スクールバス利用の範囲について

### 検討事項③ 路線上の現谷一小学区児童（緑町・熊井戸）の利用の可否 （専門部会の意見集約内容）

- ・ スクールバスの対象としないことを確認

### 検討事項④ 附属小学校区である熊井戸団地児童の取り扱い （専門部会の意見集約内容）

- ・ 次の理由によりスクールバスの対象としない。
  - （１）乗降場所までの通学ルートの安全性に不安がある。
  - （２）附属小へ通学している児童が現状いない。
  - （３）現状で、熊井戸地区の児童と一緒に谷一小へ登校している。
  - （４）熊井戸と統合後は同じ学区で同一エリアとなるため熊井戸団地だけバス利用するのは矛盾が生じる。

### 検討事項⑤ スクールバス乗降場所までの安全な通学路の確保 （専門部会意見集約内容）

- ・ 乗降場所の安全性について、今後詳細に検討していく。
- ・ 乗降場所までのルートの安全性について今後詳細に検討していく。
- ・ 安全上の課題解決が難しい場合は、乗降場所の変更も検討する。

## 議事（３）その他

### 次回の検討事項

谷一小側乗降場所の再検討

運行ルート変更の可否（沢田橋～八幡橋）

権現原団地へのバス運行の可能性

家から乗降場所までの通学路の安全性の検証

子ども１１０番の家なども乗降場所として検討

次回に旭小統合の際のスクールバス対応等の参考資料も用意する。

議事録（概要）を作成し、専門部会で共有する。

その他 次回は、計画上の１０～１２月と言わず、できるだけ早い時期に開催する。